

木質文化財充填塑形用樹脂 『アルタインM』

〔特長〕

- ①本樹脂は、破損した木質文化財の保存修復用に開発しました。
- ②硬化後に刃物で木質同様に切削できます。
- ③硬化後無数の空隙が形成されるので、最終の色合わせが容易です。

〔樹脂の成分〕

主成分：アルキルメタクリレート・ヒドロキシアルキルアクリレートの重合体

副成分：パルプ粉・木粉・砥の粉・結晶セルロース・エチルセルロースなど。

〔対象〕

著しく損傷劣化した木造彫刻や木工品、建築材などに用いることができます。

- ①虫喰いにより造形表面が欠損した箇所。
- ②水分の影響を長期にわたって受け、造形表面が溶出した箇所。
- ③木材が乾燥により割れ、造形表面を損なった箇所。
- ④木材に打ち込まれた鋸・釘の抜き穴や施行穴の繕い。

〔使用方法〕

アルタインMは「液体・粉体」が1セットで提供されます。

- ①樹脂の混合比率は液体1：粉体2が標準です。
- ②1回に混合する樹脂の量は液20g、粉体40gまでが適量です。
- ③樹脂の調合に使用する容器は、使い捨てできる紙コップが便利です。
- ④樹脂の色あわせは一度攪拌した後、顔料や木粉を混ぜて行います。^{*1}
- ⑤攪拌後、手で練って軟らかい餅状にします。
- ⑥餅状になった樹脂を、施工箇所に詰めていきます。
- ⑦硬化後、彫刻刀などを用いて成型することができます。アクリル絵の具や顔料などで、本体と色調を合わせることができます。

樹脂の可使用時間（ポットライフ）^{*2}は室温20℃で約30分、硬化までは約1時間程度です。これらの時間は気温が上がると短くなり、下がると長くなります。

^{*1} 色あわせの時には、油分のあるものを多量に混ぜないでください。重合阻害を起こし、固まらないことがあります。

^{*2} 作業に支障が出ない、使用可能な時間。

〔注意事項〕

- ①金属製のへらや匙を使うと、樹脂が硬化しにくくなることがあります。使用はお控えください。
- ②粉体は、粒子の比重の違いにより分離することがあります。使う前には必ずよく振ってから使用してください。
- ③使用時には必ず換気を行ってください。
- ④使用時には必ず手袋を着用してください。
- ⑤使用後は必ず蓋をして密閉してください
- ⑥粉体・液体とも冷暗所で保管してください。
- ⑦当製品の使用により発疹等の過敏症状が現れたときは、すみやかに使用を中止し、医師の診断を受けてください。
- ⑧目に入った場合はすぐに水で洗い流し、異常がある場合は眼科医の診断を受けてください。

アルタインMの使用例



欠損部補強材の接着にアルタインMを用いる



欠損部分をアルタインMで塑形する

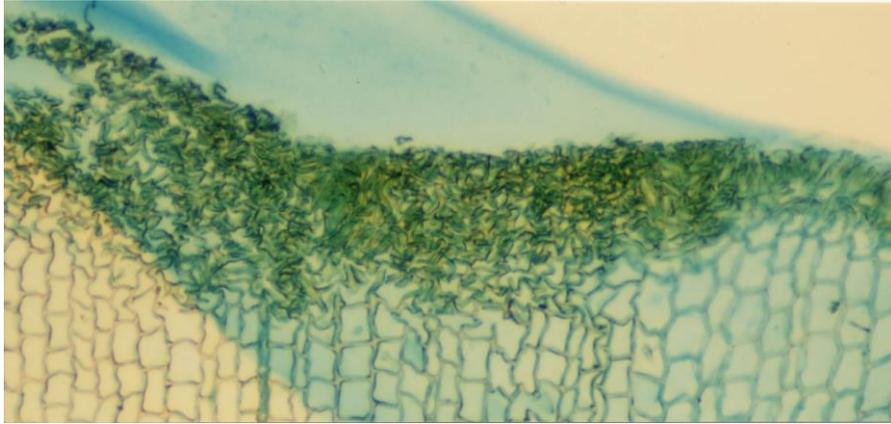


アルタインMによる塑形部分を彫刻刀で整形する

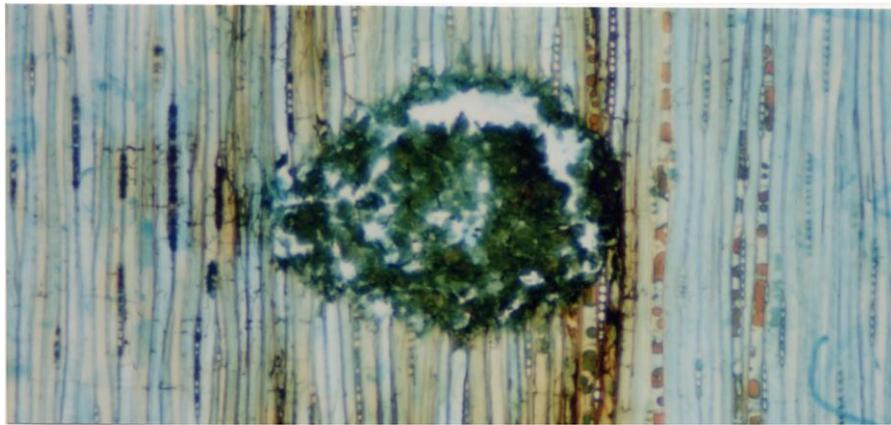


整形部分を古色仕上げする

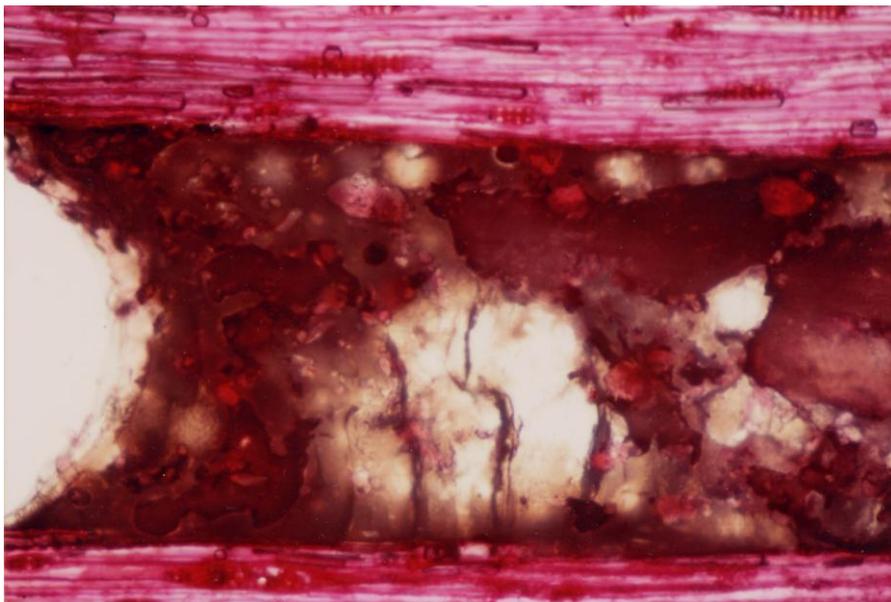
顕微鏡写真解説



風化による木像表面の劣化進行状況（カヤ・木口）



仏像にみられる虫食い孔（ヒノキ・板目）



アルタインMによる接着部分（大小の空隙が見える）